

NPO法人PDN主催

アカデミア創生塾 ～第6期生・募集案内～

－第6期生募集にあたり（鈴木裕）－

《多くの臨床医の辿る軌跡》

多くの臨床医は、以下のような軌跡を辿る

- 1 小さい頃から勉学優秀
- 2 努力した結果、医学部に合格
- 3 6年間の医学部教育（考えない思考過程養成）を経て、医師国家試験に合格
- 4 5年間の理不尽な環境下でのレジデント生活
- 5 専門領域を選択するが、学ぶことが多すぎるために、先輩医師の庇護下に臨床、研究を開始する
- 6 少しずつ学会発表や論文執筆（症例報告が主）を行う
- 7 博士号取得のために大学院や（他施設の）研究室（国内、海外）に留学
- 8 12年目頃に他人（多くは医局の先輩）指導のもとに博士号取得
- 9 大体の専門医を取得
- 10 15年目を過ぎたあたりから自力での（他人の協力なし）臨床および基礎研究を強いられる
- 11 グラントの獲得に苦勞
- 12 大学内で講師などの要職につく、あるいは関連施設の指導医として派遣
- 13 大学内での限界を悟って、開業などの道を選択

これが多くの医師が歩む経路ではないでしょうか。医師になって、それぞれが目指すゴールが異なるのは当然です。しかし、卒後15年から20年になってはじめて悟るのは、自分の人生の不条理です。自分にはもっと才能があったはずだ。でも、気がついてみると、大学の仲間と相当おいて行かれています。自分は診断も手術も他の外科医より上手い。難しい疾患の診断と治療が完璧にできる。でも、大学や学会からの評価は低い。その根底を探ると、研究の基礎がないために、自力で研究デザインが創れない、インパクトファクターの高い論文が執筆できない、海外の学会で発表できない、研究費が獲得できないなどに行き着くのです。

《アカデミア創生塾の目指すところ》

40歳を越えてからは、下山する人間と登り続けるものに二分されます。医師は中でも特にはっきりします。その原因が、ものを考える時期に考える基礎を学ばなかったり、指導者に恵まれなかったり、自分の能力を過小評価したりするなどではないでしょうか。アカデミア創生塾は、多くの医師が遭遇する上述の悲劇を回避して、自分の可能性を引き出すチャンスを生み出す塾を目指します。政治家で言えば、松下政経塾のような存在になりたいと考えています。

【アカデミア創生塾・第6期 講義予定内容】

- 日程: 講義① 6月10日(土)18:00～22:00 6月11日(日)9:00～16:00
講義② 7月 1日(土)18:00～22:00 7月 2日(日)9:00～16:00
講義③ 8月26日(土)18:00～22:00 8月27日(日)9:00～16:00

※講義は、土曜日の18時00分から約4時間と日曜日の約7時間(休憩含む)です。

【テキスト】

- ①医師が知りたい医学統計（よりよいEBMの実践）
- ②Stataによる医療系データ分析入門—統計解析のエレメントからメタ解析まで
- ③ソフト：Stata 14 Intercooled (IC) or Special Edition (SE)

アカデミア創生塾 第6期カリキュラム

講師：東京慈恵会医科大学 教授
分子疫学研究室室長 浦島充佳 先生

同じ病気でも、ある患者さんは治り、ある患者さんは不幸な転帰をたどります。日々忙しい臨床医の生活を送っていると「がんであれば、早期であっても再発することはあるさ、逆に進行がんであっても再発しないで5年以上生きることがある」と何の疑問も抱かなくなります。しかし、「何故そうなのか？」を知ることができれば、新しい予防や治療につながるかもしれません。新しい治療法や予防法を開発できれば、1人1人ではなく、一度に大勢の患者さんを救うことができます。一方、どんなに名医でも一度に大勢の命を救うことはできません。

『アカデミア創生塾』では、テキスト熟読と宿題（1ヵ月前には送るようにします）に回答する形での予習が基本となります。また授業では、予習してきていることを前提に、実データの統計ソフトSTATAによる解析だけではなく、解析結果の解釈も含めての討論を行います。予習でどこまで深く掘り下げられるか。これが実りある成果につながります。最終的には自ら臨床研究のプロトコルを作成し、データを解析し、考察を加え、英語論文投稿、査読者とのやりとりができることを目指します。

★教科書

必ず予習してきていただきたい。

①医師が知りたい**医学統計**（東京図書）

臨床研究の基本原理が記載されている。まずは読破してきていただきたい。

<http://www.tokyo-tosho.co.jp/books/978-4-489-02217-3/>

②**Stata** による医療系データ分析入門（東京図書）

<http://www.tokyo-tosho.co.jp/books/978-4-489-02167-1/>

data を<http://www.tokyo-tosho.co.jp> よりダウンロードして、一通り試してきていただきたい。

授業は**Stata** は既に使えるものとして始めます。

★統計ソフト

STATA <http://www.lightstone.co.jp/stata/index.html>

Stata SE or IC を購入する。毎回**Stata** の入った自分の**PC**を持参すること。

【開催概要】

会場：東京都中央区勝どき3-3-6 勝どき田窪ビル3階 NPO法人PDN内 会議室

参加費：540,000円(1期分・前払い制)

その他：テキスト2種類と統計解析ソフトが別途必要となります。

サポート：上記講義に参加できなかった場合、下記特典が得られます。

①後日、欠席された講義の動画がDVDにて送付されます。(対象者：欠席者全員)

②欠席された講義は、次期アカデミアでの受講する事が出来ます。(対象者：希望者のみ)

その他：受講に際し、ノートPC、統計ソフト(*Stata*)が別途必要です。